

磐城時報

日刊 二月十日
編輯部 磐城石城郡平町
印刷部 磐城石城郡平町
電話 二二二番
代價 一月三圓 三月九圓 半年一五圓 一年二八圓
廣告料 一行五字 一月五圓 一月十圓 一月十五圓 一月二十圓 一月二十五圓 一月三十圓 一月三十五圓 一月四十圓 一月四十五圓 一月五十圓 一月五十五圓 一月六十圓 一月六十五圓 一月七十圓 一月七十五圓 一月八十圓 一月八十五圓 一月九十圓 一月九十五圓 一月一百圓

夏井村如來寺の 二國寶御開帳

二一十七日から四日間

國寶として既に有名な夏井村矢たもので大正四年甲種國寶に指
の目如來寺の「善光寺熾試の如定されたもの。彌陀三尊來迎佛
來」並に「彌陀三尊來迎佛の如定されたもの。彌陀三尊來迎佛
幅」は一般信者の希望によつて八尺五寸に四尺九寸、大正四年
來る二十七日から三十日まで四月二十六日國寶に指定された
日間御開帳を行ふ事になつた。ものである。御開帳の初日二十
善光寺熾試の如來は今から一千七百日は普山招待者によるみ拜觀せ
三百二十九年前聖徳太子が信濃しめる筈で、一般の拜觀は二十
國善光寺の如來を模倣し作製し八日から三日間料金は大人二十
たもので今から六百四十八年前錢、小人半額、學生は五錢宛で
弘安十年夏井村矢の目に運ばれた。

増級は實現したが 行き悩む寄附金

町村長會で大童への奮闘

磐城高等女學校の受験難緩和策三大炭礦の豫定額は背負投げを
たる學級増加は今年度より實現
したが
先きに町村長會石城支會より
縣當局に對し學級増加方を陳
情した際學級増加に要する經
費金額を地元にて寄付する
ことを條件として許可され、
今年度新入生より一學級五十
名を増加入學させたが、
未だに寄付金負擔額が決定しな
い、折角入學した一年生は獨立
した自己の教室なく毎時間毎に
各教室を轉々として授業をうけ
てゐる始末で學校當局からは早
く教室増築費を寄附して呉れと
迫まれ町村長會でも頭を悩ま
してゐる。瀧みの綱としてゐた
石城郡穀物共同受檢組合では廿

優良穀物生 産者表彰式

けふ平署會議室で

當日は此の外に鐵道側で大官傳
かが拳大の石を投げ窓硝子を破つたもの
を以て後藤平署長は十九日である。

平の春・たけなは

あす賑はひに湧く

團體觀櫻客に美妓連の觀櫻

松ヶ岡公園の賑はひは續く……
きのふ聯合消防檢閲後の觀櫻宴
會風揚げ大會の催しもあるの
で金山はいなせな法被姿の消防
隊に活氣を呈するものと豫想
一色に塗りつぶされて非常な雜
踏を見せた。
何しろ管内消防組員が年に一
度のお花見といふので飲めや
唄えの豪勢さで花の公園だけ
では納まらぬ平町の料理屋
どいふ料理屋は超満員の盛況
ぶり。三味……太鼓の音も弾
んで夜更けまでも大騒ぎだつ
た。
……あすは水戸運輸事務所
募集した助川一關本間七驛の觀
櫻團體八百名が臨時特別列車で
平町では青沼町長以下土木委
員連が驛頭までお出迎へする
外平町紅裙連連り抜き的美妓
も迎へて大サーピンスに努め
觀櫻の祝意をこめた煙火を打
揚げる。

旅客列車に投石

花見販りの醉漢の悪戯か？

平署で犯人嚴探中

十八日午後六時二十一分頃平野平署に告發した。花見歸りの醉
漢が上り二三六號旅客列車が神漢の悪戯ではないかと見られる
谷村大字中神谷地内を進行中前も或は故意に客車に投石して誤
部より三輛目の手荷物車に何者か破つた窓硝子を破つたもの
が拳大の石を投げ窓硝子を破つたもの
を以て後藤平署長は十九日である。

暗やみの復讐

一升饅で坑夫二名の頭を割る

不良青年の遺恨

内郷村磐城炭礦町坑夫夫鈴木
義雄(三三)同三浦利(二九)の兩
名が十八日午後十時ころ山神社
境内を通行中暗闇の中から躍り
出た暴漢の頭に一升饅を以て
兩人とも頭部を毆打され何れも
至治三週間の重傷を負はせられ
た。届出により平署で捜索の結
果右は同村字町田坑夫遠藤泰雄
(二二)で同村切つての不良青年
近を途方に暮れながら道邊つて
ある少年を平署派出所管家巡查
が呼びとめて事情を聞いたこと
を以て復讐を企てたものと判明
する。署で引續き取調中。

野望の夢空しく……

平驛付近をさまよふ少年

管家巡查の情けに救はる

十八日午後六時半ころ平驛前付
近を途方に暮れながら道邊つて
ある少年を平署派出所管家巡查
が呼びとめて事情を聞いたこと
を以て復讐を企てたものと判明
する。署で引續き取調中。

三五年型流線美の極致

陸の王者

流線 ダツチ

到着

着

不二タタシ

電話三二番

東京鐵道局公認

不二タタシ

輝やく戦功

平町出身七勇士

勳章を授與さる

平町左記諸氏はそれ〴〵戦功に
より左記勳章を授與され近く平
町役場で傳達式を舉行すること
になつた。
▲勳八等旭日章歩上等兵大竹
榮一、同赤津重美、歩一等兵
澤田長四郎、看護上等兵立原
道夫、▲從軍記章一等主計兵
高田清二、▲滿洲建國功勞章歩
兵上等兵原田宗三郎、關内和
平。

坑夫炭車で惨死

内郷村大字宮字峰根磐城炭礦運

炭車は十九日午後十一時ころ磐城第三斜坑内で
炭車の下敷となつて惨死した。

未だ納めぬ側溝 工事受益者負擔

去る八年度に施工された平町材木町、紺屋町、長橋町各區内の國道側溝工事の受益者負擔額のうち

長橋町四五圓八八、紺屋町五八圓六六、材木町九九圓

が未だに納入されず十數回に亘る督促も空しくしびれを切らした平町土木課では二十五日までには必らず納入せよと最後の催告を二十日各區長宛嚴重通牒を發した。

少年家出

石川郡蓬田村大字長田字桐田四四條太郎長男再妻庄一(一七)は十九日午前五時ころ無断家出した、花の石城地方に憧れての家出ではないかと實父條太郎が十九日平署に搜索願。

尼子自動車 平町二丁目
流線型入車 尼子タクシ

では地方同業者に魁けて三十五年式流線型の乗心持の好い高級車を入れ一般の人氣を博してゐるが近く遊覽バスも入車する筈である。

黒メガネの賊

家人に騒がれ

逃走後直に檢舉

十八日午前一時ころ平町一丁目足袋製造業齋藤嘉代志方へ黒メガネの賊侵入金品物色中を主人に發見され一喝を喰つて一物も取らず逃走した、届出により平署では非常線を張つて黒メガネの行方を探査の結果同日午前二時ころ平驛待合室で舉動不審の男を引致取調べたところ前記犯行を自白した。右は郡山市堂の前生れ前科七犯相良勝衛四八、で余罪ある見込み。

流線型入車

お待ち兼ねの卅五年式流線型

第一車が入車致しました

是非御試乗を御願ひ致します。

電話六四〇番

尼子タクシ

理髮 東京

平町三丁目警察署通り

親切は「理髮・東京」の出発点
誠實は「理髮・東京」の生命線

耳鼻咽喉科 専門

病室完備：自炊の便あり

平町南町 大和田醫院
電話一七〇番

内科

平南町(電二四三番)

川井内科診療所

川井安子

理想的強壯榮養料

血肉トリーゼ

高級滋養劑で味甘く女子供も喜んでのめる。

適 血少なく顔色悪き人、胸おどろき、心臓弱き人、大病又は産後の衰、應 弱、過勞疲勞又は天性虛弱者、症 小兒の榮養不良、一圓五十錢、二圓

特に病氣見舞には最的品

特約店 大平屋藥局

平町一丁目 電話六四二番

公園賣店廣告!

第二公園上へ十一屋賣店を設け

ました、御花見の節は是非御立寄り下さい。

折詰・御すしの御注文は多少に

拘り皆さん(電三七三三)の十一屋へ：△

第二公園上

十一屋賣店

電話三七三番

絶對副作用なく、着衣のままで……

高血圧 専門 神經痛

◎其他 せんそく、肋膜炎、慢性胃腸病、不眠症、痔疾、糖尿病、關節炎、婦人諸病、打身、小兒癲癩。

平町仲町(二葉印刷所内)

フタバ磁氣再生療院

電話一九三番

機械完備
料金低廉

父長八儀永々病氣加療中の處藥石無効十八日午後零時十分死去仕候
追而葬送の儀は四月二十一日午後二時自宅出棺海藏寺に於て佛式相替み申候
昭和十年四月十九日

男 長谷川長太郎
親戚總代 高木寅之助
友人總代 菅波末吉

耳鼻咽喉科 専門

平町(電六九二)

病室完備
自炊ノ便アリ

山内醫院

醫學士 山内亨吉

外科 一般外科 内臓外科 性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり)

元赤心堂病院

安齋外科醫院

電話四七五

内科 小兒科
花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町
電話四七五

債券・公債兩替金融

多田井質店

平町大工町 電話五九一町